

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月5日

事業所名 放課後等デイサービス のぞみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			現在の利用者にとっては設備等に問題はないが障がい具合によってはバリアフリーが必要な箇所が出そうな場所を検討しておく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月、職員会議を行い、毎日のミーティングや振り返り、引き継ぎを職員で心がけています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者等向け評価表アンケートを活用し、実施しています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していきたいです。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修に参加したり、事業所内で再度内部研修を行い、他の職員と情報を共有しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ご本人様、保護者様のニーズを聞き取ったり、日々の変化を記録し検証しながら計画に反映させています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されたシートについては、今後検討していきたいです。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムの内容は、毎月のスタッフ(支援員)会議を行い意見を出し合い行っています。また、必要時は活動プログラムの変更等、柔軟に対応を行なっています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムが固定化しないように子どもが興味を持ちながら経験が積めるよう、また公共資源の利用など、意見を出し合い工夫しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		子供の特性等を考え手作りおやつ等(調理実習)、公共の資源を利用しながら外出などの課題を設定しながら実施しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々のニーズや状況に応じた組み合わせを取り入れています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		平日は毎日午前中に、休校日は前日にミーティングを実施しています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は、日誌等に残し翌日のミーティングで振り返りを行なっています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個々の変化や様子等気づいたことを「気づき」を記録し、モニタリングに活かしています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に月1回を目安に検討会議を開催し、見直しを行なっています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		検証とまでいきませんが、ガイドラインを意識して実施しています。		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管や保育士が中心となり参画しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		「学校の連絡は保護者を通じてください」と学校側の意向があったので、保護者を通じて連絡のやり取りを行っています。また、必要に応じて担任の先生と情報交換等の連携を取っています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	現在該当ありませんが必要に応じ検討していきます。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	-	-	現在該当ありませんが利用を開始する際には、保護者や関係機関から情報収集したり情報共有に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-	現在該当ありませんが必要に応じ情報提供をしていきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		県主催等の研修に随時参加しながら、地域関連機関との連携を取るよう努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公共のイベント行事や、公園、図書館、航空科学館等を利用しながら、「絵画教室」を開催するなどの交流の機会を設けてあります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	-	-		地域自立支援等の開催時は参加したいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時、その他電話などでも連絡を報告するよう心掛けています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		会話の中で必要に応じて助言を心がけていますが、「ペアレント・トレーニング」は、行っていませんが実施を検討しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時に重要事項説明に基づき説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や電話等でご相談があった場合は、随時承り適切な助言を心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	-	-		昨年は「家族会」を開催しましたが、本年の企画段階で保護者様より欠席の返事を頂きできませんでした。今後も検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		速やかに対応するよう心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回、行事予定等の会報や個人予定を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		同意書を取り交わし、書類は施錠できるロッカーで管理しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者には連絡帳にて、その日の内容や様子をお伝えしています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		契約児童以外でも、夏、冬長期休みを利用して「絵画教室」に参加できるよう行っています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者へ、12月始めにインフルエンザの感染が拡大する前に「感染症対応マニュアル」を配布しております。緊急時対応・防犯マニュアルを策定したものは見える場所に設置し閲覧できるようにしています。また、職員は事業所内部研修に取り組んでいます。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練等を行なっているが回数を増やしていきたいです。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止の研修に参加し、職員間での勉強会を開催しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	-	-	現在、該当はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	現在、該当はありません。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		法人全体でインシデントレポートを作成し、事故の再発防止に努めています。		